

1. 目的

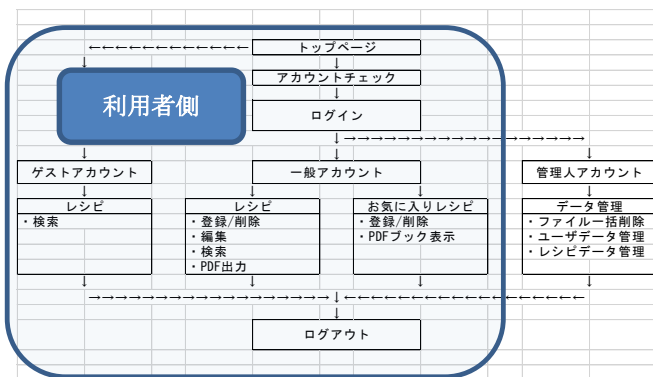
現代の料理レシピサイトではサイトごとに特色が存在する。サイト内で食材のショッピングが可能な場所や、レシピの特集が組まれているサイト、Google の検索でもレシピを探すことが出来る。今回はレシピサイトでは使用されていない新機能を追加することを目標とした。

基本的な機能である「レシピの登録・編集」「レシピの検索」を作成し、新機能として「レシピ表示のPDF化」「PDFブック制作」の2点の追加を行った。この機能はタブレットや印刷物として持ち出す際に有効活用できるのでは無いかと採用した。

TCPDF ライブラリ(クラス)を今回のPDF作成の為に使用している。

2. 料理レシピサイト構成

今回のシステムは下記の構成になっている。



[料理レシピサイト構成図]

トップページからログインしてアカウント分岐が発生する。ログインしない場合は機能が制限されている。

レシピサイトを利用する際に各アカウントの権限が存在する。これは主に3つのアカウント(内一つは分類無し)に分けられる。ここでの権限とは、使用できる機能を差別化するものである。

今回の研究では、利用者側が使用可能なのは、ゲスト(アカウント)と一般アカウントである。

アカウント登録をしていない場合はゲスト(アカウント)となる。使用可能な機能は「レシピ検索」のみである。

アカウント登録をした一般アカウントは、「レシピ登録」「レシピ検索」「レシピ編集・削除」「レシピお気に入り登録・削除」「レシピのPDF表示」が可能である。

管理人アカウントは個別に設定を変更する必要があるが、「全レシピデータの削除」「個別レシピデータ削除」「アカウント削除」が可能である。

3. レシピ表示機能

「レシピの詳細表示」



登録したレシピを詳細に表示する機能で、データベースから情報を取得して表示させている。レシピの編集、削除、イメージの編集、レシピのお気に入り登録・削除が可能である。レシピに個別のIDがつけられており、一般アカウントではこのIDを使用して「お気に入りに登録」する。

「PDFブックの表示」

レシピの詳細表示のようなデータをPDFで表示する機能である。一般アカウントの「お気に入りに登録」されたデータを複数のページにわたって別のレシピを表示させるPDFブックも表示可能である。

今回の研究では、TCPDFライブラリ(クラス)を使用し、PHPファイルをPDFして出力している。TCPDFライブラリ(クラス)とはPHP用のライブラリで今回のPDF作成の為に使用している。WindowsやLinuxに対応し、PHP4、PHP5のどちらでも利用可能である。言語は日本語や韓国語を含めて、Unicodeにも対応している。機能も豊富で一般的に利用されているPDF書式の大部分を作成できる。

PDFの表示サイズは1レシピあたりA4用紙1枚分を想定し、必要最低限のデータをのせることでコンパクトにまとめることが出来た。

PDFの形式で表示することでファイルの保存や印刷するのが楽になる。最初の目的で述べた通り、持ち運びを考えた出力を可能にした。

4. まとめ

TCPDFライブラリを使用して「料理レシピ表示のPDF化」と、複数の料理レシピをまとめてひとつのPDFにする「PDFブック制作」のふたつの目標を達成することが出来た。